

ヤングブレインズによる先端科学シンポジウム (大学院 GP および理学研究科3COE による合同シンポジウム)

東北大学大学院理学研究科は、「魅力ある大学院教育」イニシアティブ(通称「大学院 GP」)の実施拠点の一つとして平成 17 年度に採択されました。このプログラムでは「ヤングブレインズ(若き頭脳集団)」をキーワードに、大学院学生を経済的に支援したり、学問的に刺激したりしてきております。本シンポジウムは、そうしたヤングブレインズを主体にして研究成果を発表してもらい、異分野間の交流を図るのが目的です。専門分野以外の研究者との交流は、多くの刺激を与えてくれます。その刺激は自分の研究の重要性を認識させ、想像もしなかった新しい研究課題の発掘にもつながってゆきます。このシンポジウムをそうした機会ととらえていただけると幸いです。

東北大学理学研究科では化学系、物理学・数学・天文学系、地球科学系の三つの分野それぞれが、COE プログラム(世界的研究教育拠点の形成のための重点的支援)に採択されています。それぞれの COE プログラムでは、世界最高峰の研究教育拠点形成を目指し、最先端の研究教育しております。このシンポジウムで発表される研究成果は、COE プログラムの成果でもあります。ヤングブレインズと「世界最先端研究」をブレンドしたこのシンポジウムはユニークなものであり、普段味わえないサイエンスの醍醐味を楽しめる機会になるでしょう。多くのヤングブレインズの参加を期待しています。

GP・COE 合同シンポジウム実行委員会

記

日 程: 2007年2月17日(土曜日)

場 所: 東北大学片平キャンパス, 片平さくらホール

<http://www.tagen.tohoku.ac.jp/general/access/sakura-j.html>

参加費: 無料

「ヤングブレインズによる先端科学シンポジウム」

プログラム

9:30-9:40 開会の挨拶

<地球科学系COE>

9:40-9:50 地球科学系COE代表挨拶(大谷 栄治 教授)

9:50-11:25

山本 揚二郎(D2, 地球物理学専攻): 宮城県沖地震震源域の地下構造

植原 稔 (D2, 地学専攻): 磁気顕微鏡でのぞいた隕石と原始太陽系進化

杉本 周作 (D2, 地球物理学専攻): 北太平洋亜熱帯モード水の遠隔再出現と20年周期変動

古川 善博 (D1, 地学専攻): 初期地球における生命起源有機分子の形成

<ポスターセッション> 11:25-13:40 (昼食時間も含む)

<化学系COE>

13:40-13:50 化学系COE代表挨拶 (板谷 謹悟 教授)

13:50-15:25

坂田 雅文 (博士研究員, 工学研究科応用化学専攻): 固液界面での分子レベルでの配列制御

森田 耕太郎 (博士研究員, 化学専攻): DNA 二重鎖内部のナノ疎水場空間を利用した一塩基多型検出

中村 葉子 (DC2, 化学専攻): 生物現象をコントロールする天然有機分子の科学 -植物の就眠現象を例として-

李 羅榮 (Lee Nayoung, DC2, 化学専攻): シガトキシン類の構造活性相関と毒性中和

15:25-15:40 コーヒーブレイク

<物理学・数学・天文学系COE>

15:40-15:50 物理学・数学・天文学系COE代表挨拶 (橋本 治 教授)

15:50-17:20

三浦 英之 (COE研究助手, 数学専攻): Navier-Stokes方程式の数理解析

奥山 大輔 (DC3, 物理学専攻): 磁性体の電子スピンと電子軌道がもたらす整列現象 -X線と中性子線の回折現象で調べる-

市村 晃一 (DC2, ニュートリノセンター): ニュートリノを使った初めての地球内部観測

17:20-17:30 閉会の挨拶・授賞式

懇親会 (閉会后-20:00) 懇親会 (北門食堂)

(懇親会は会費制で学生1000円, 教員(PDを含む)は3000円です.)